

# 2025 ズバリ! 的中



# 世界史

## 関西学院大学

### イングランドとスコットランドが合併してグレートブリテン王国が成立した時の王を問う問題でズバリ的中

#### 入試問題

2月7日実施 学部個別日程(均等配点型)  
神・社会・経済・国際・教育学部  
大問II 口

〔II〕 次の文中の□に最も適当な語を語群から選び、また下線部に関する問いに答え、最も適当な記号1つをマークしなさい。

近世ヨーロッパでは、貴族などの諸身分の特権を抑え込んで王権の絶対化を試み、中央集権化を進める。①絶対王政がひろく見られるようになった。その一例が②イギリス(イングランド)だが、イギリスの絶対王政は、王権と議会との独特の関係の上に成り立っていた。

1485年、ヘンリ7世によって開かれた□朝では、ヘンリ8世の離婚問題によるローマ教皇との対立を機に、首長法によって国教会が創設された。この頃までにイギリスの絶対王政は確立し、③エリザベス1世の治世に最盛期を迎えたと考えられている。

当時、ブリテン島の北部④スコットランドを治めたのはステュアート家だった。1603年に女王を亡くしたイングランドは、このステュアート家から国王を迎えて同君連合を発足させた。王権と議会とのせめぎ合いによる⑤ピューリタン革命と⑥名誉革命の激変をへた後に、女王□もとので両国は完全に合邦し、グレートブリテン王国が成立した。だが、この頃までにイギリスの絶対王政は衰退し、議会と国王が権力を分有する、近世ヨーロッパでは異例の姿を示していた。

〔語群〕

- イ a. ノルマン b. プランタジネット c. テューダー d. ヨーク  
ロ a. ヴィクトリア b. アン c. メアリ1世 d. メアリ2世

#### 河合塾

直前講習  
関学大世界史突破テスト  
〔III〕

〔III〕 次の文中の□に最も適当な語を語群から選び、また下線部に関する問いに答え、最も適当な記号1つをマークしなさい。

イギリス(イングランド)で、1603年に①テューダー朝が絶えると、遠縁のスコットランド王がイングランド王位を兼ねてジェームズ1世として即位し、同君連合としてのステュアート朝が成立した。ジェームズ1世は王権神授説をとらえ、議会の同意なしに課税したり大商人に独占権を与えたりしたうえに、イギリス国教会に属さない新教徒を抑圧した。当時、新興勢力のジェントリや商人は、商工業の自由な発展を妨げる独占を激しく攻撃しており、また彼らのあいだには②カルヴァン派の流れをくむピューリタンが多かったため、彼らと国王の対立はしだいに激化した。そして、下院にはジェントリなどの代表が多かったため、この対立は、国王と議会の対立となって現れた。つぎの国王のチャールズ1世も同様の政治を続けたので、議会は1628年に□を提出したが、国王はこれを守らず、翌1629年の議会解散後、11年間も議会を開かなかった。ところが、スコットランドで反乱が起こり、その戦費を調達するために国王はやむなく議会を開いた。議会は、国王の政策を攻撃し、ついに1642年から王党派と議会派のあいだに内乱がはじまった。議会派の③クロムウェルは1649年に国王を処刑し、共和政を樹立した。これがピューリタン革命である。クロムウェルの政府は、イギリスの商工業を保護するため航海法を発して④オランダの通商に打撃を与えた。しかし、クロムウェルの軍事独裁に対して国民の不満が高まり、1658年に彼が死ぬと、1660年に亡命先の⑤フランスから帰国した国王が即位して王政が復活した。しかし、王政復古後の2人の国王は、いずれも専制的な政治を行ったので、議会はオランダに嫁いでいた王の娘メアリとその夫のオランダ総督オラニエ公ウィレムを1688年にイギリスに招き、名誉革命が起こった。これ以降、国民の基本的な人権と議会主権の原則が確立され、イギリス立憲政治の基礎が築かれた。また、□治下の1707年にはイングランドとスコットランドが合併して大ブリテン王国が成立した。その後ステュアート朝が絶えると、遠縁にあたるドイツのハノーヴァー家からジョージ1世が迎えられ、1714年に⑥ハノーヴァー朝が開かれた。これが現在のイギリス王室の祖である。

〔語群〕

- イ a. 権利の章典 b. 権利の請願 c. 大憲章 d. 権利の宣言  
ロ a. アン女王 b. ヴィクトリア女王  
c. ジェームズ2世 d. チャールズ2世